

6 月 29 日からの大雨に関する被害状況等について（第 10 報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（7/6 6:00 時点）

- 6 月 28 日から 7 月 5 日にかけては、活動の活発な梅雨前線や上空の寒気の影響で、沖縄地方を除いて全国的に大雨となった。1 日から 3 日は山口県や熊本県、鹿児島県（奄美地方）で線状降水帯が発生した。
- 九州北部地方や九州南部・奄美地方では、1 時間降水量が 80 ミリ以上の猛烈な雨を観測した。また、6 月 28 日から 7 月 5 日の総降水量は、九州北部地方では 700 ミリを超え、九州南部でも 600 ミリを超える大雨となり、九州を中心に平年の 7 月の月降水量を超えた地点があった。
- 九州では、これまでの大雨により広い範囲で地盤が緩んでいる所がある。梅雨前線は、7 日以降に再び九州付近に停滞するため、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。今後の気象情報に留意。

2 体制等

- 警戒体制：本省、中国地整、気象庁、国総研
- 注意体制：九州地整、中国運輸、九州運輸、国土地理院

3 一般被害情報（消防庁 HP 7/5 8:30 時点）

- 人的被害
 - ・死者 1 人（山口 1）
 - ・行方不明者 2 人（山口 1、大分 1）
- 住家被害
 - ・全壊 3 棟（愛媛 1、福岡 1、大分 1）
 - ・半壊 15 棟（愛媛 13、福岡 1、長崎 1）
 - ・床上浸水 266 棟（岐阜県 1、山口 257、熊本県 8）
 - ・床下浸水 356 棟（石川 5、長野 2、岐阜県 2、広島 1、山口 321、愛媛 2、熊本 23）

4 被害情報等

(1) 河川（7/6 5:00 時点）

15 水系 20 河川にて氾濫。

○国管理河川（1 水系 1 河川）

- ・佐波川水系佐波川の霞堤部にて農地浸水あり（概ね解消）。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

○都道府県管理河川（14 水系 19 河川）

- ・8 県（石川県、長野県、岐阜県、山口県、愛媛県、福岡県、熊本県、鹿児島県）において、14 水系 19 河川で氾濫に伴う浸水被害が発生（概ね

解消)。このうち、山口県管理の粟野川水系粟野川では、堤防が決壊し、農地が浸水（応急復旧を実施中）。

- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

(2) ダム

○洪水調節（事前放流を含む）を実施 102 ダム

102 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 32 ダム

- ・事前放流を実施 17 ダム（うち、利水ダム 8）
- ・すでに事前放流の容量を確保 15 ダム（うち、利水ダム 12）

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

(3) 砂防

○土砂災害（7/6 8:00 時点）

- ・ 64 件（新潟県 2、石川県 7、長野県 2、岐阜県 3、島根県 1、広島県 3、山口県 9、佐賀県 1、長崎県 2、熊本県 12、大分県 3、宮崎県 3、鹿児島県 16）

人的被害 安否不明者 1 名（大分県（由布市）1）

※7/6の安否不明者の捜索活動は、8:00 から実施。

負傷者 1 名（鹿児島県（日置市）1）

人家被害 全壊 1 戸（大分県 1）

一部損壊 8 戸（長野県 1、山口県 1、佐賀県 1、熊本県 1、宮崎県 2、鹿児島県 2）

○土砂災害警戒情報（7/6 7:00 時点）

17 県 141 市町村に発表（千葉県、新潟県、富山県、石川県、長野県、岐阜県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

※全て解除済み

(4) 道路（7/6 7:00 時点）

○高速道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○有料道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○直轄国道

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○補助国道

被災等による通行止め：3 路線 3 区間

国道 325 号（宮崎県高千穂町）：法面崩落
国道 445 号（熊本県山都町）：橋梁損傷（流出）
国道 448 号（鹿児島県肝付町）：土砂崩れ

○都道府県道等

被災等による通行止め：9 県 40 区間

岐阜県 1 区間（法面崩落 1）
愛知県 1 区間（土砂崩れ 1）
岡山県 1 区間（落石 1）
山口県 18 区間（土砂流出 2、倒木 1、路肩崩壊 8、土砂流入 5、路面陥没 2）
愛媛県 3 区間（土砂崩れ 2、路肩崩壊 1）
福岡県 2 区間（路面冠水 1、土砂崩れ 1）
熊本県 12 区間（土砂流出 2、路肩崩壊 4、路面冠水 3、土砂崩れ 2、
法面崩落 1）
宮崎県 1 区間（路肩崩壊 1）
鹿児島県 1 区間（路肩崩壊 1）

※この他、愛媛県の町道の全面通行止めにより 1 箇所が孤立が発生

(5) 鉄道（7/6 7:00 時点）

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【被災状況】

J R 西日本

美祢線 橋梁倒壊（1 箇所）、複数個所で土砂流入等（詳細調査中）

山陰線 橋梁傾斜等（1 箇所）、複数個所で土砂流入等（詳細調査中）

J R 九州 久大線 20 個所で土砂流入等（詳細調査中）

【運転を見合せている路線】：2 事業者 3 路線

J R 西日本：山陰線、美祢線

J R 九州：久大線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

(6) 航空（7/6 06:00 時点）

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

30 日 欠航便 19 便（JAL4 便、ANA1 便、その他 14 便）

1 日 欠航便 22 便（JAL18 便、その他 4 便）

2 日 欠航便 10 便（JAL8 便、その他 2 便）

3 日 欠航便 20 便（JAL14 便、その他 6 便）

4日 欠航便4便（JAL2便、その他2便）

5日 欠航便2便（その他2便）

(7) 自動車（7/6 6:00 時点）

○運休状況等

- ・高速バス：運休、一部運休なし
- ・路線バス：1事業者1路線運休、1事業者1路線一部運休
- ・宅配事業者：大手3事業者において一部地域で集配遅延

(8) 海事（7/6 6:30 時点）

○運休状況等

- ・2事業者2航路 運休

(9) 港湾（7/6 6:30 時点）

- ・熊本港（夢咲島地区）の泊地に少量の漂流物（流木等）を確認し、熊本県により漂流物の回収作業中。港湾利用に支障なし。

(10) 下水道（7/6 8:00 時点）

○山口県下関市：マンホールポンプ2基が浸水（応急対応済）

○熊本県益城町：管路（污水）が一部破損（応急対応済）

○宮崎県宮崎市：管路（污水）が一部破損（応急復旧済）

○山口県美祢市：汚泥処理施設1箇所が浸水（詳細点検中、水処理機能は問題なし）
マンホールポンプ1基が浸水（応急対応済）

(11) 公園・都市（7/6 7:30 時点）

○都市公園：7施設被災（京都府1、山口県3、福岡県1、熊本県1、宮崎県1）

(12) 観光（7/6 7:00 時点）

- ・大分県由布市の宿泊施設1軒で泥水流入による被害
- ・愛媛県松山市の宿泊施設1軒で浸水等による被害

(13) その他（海岸、物流、海保）関係の状況

- ・被害情報なし

5 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議（6/29、7/3、7/4）

(2) 記者会見等

○合同記者会見（福岡管区气象台、九州地整 6/30 11:00）

○共同取材（気象庁、水管理・国土保全局 6/30 14:00）

(3) ホットライン構築状況

北陸、中部、中国、四国、九州の73市町村とホットラインを構築

（新潟県2、富山県1、石川県2、長野県1、岐阜県4、山口県6、愛媛県8、福岡県6、佐賀県3、熊本県17、大分県3、宮崎県9、鹿児島11）

(4) TEC-FORCE 等【本日23名派遣】（のべ213人・日、日最大39人7/1）

○JETT：1市へ2名を派遣中

○被災状況調査班等：21名を派遣中

- ・山口県内において、中国地整による河川、道路の被災状況調査を実施。
- ・熊本県内において、九州地整、国総研、土研による被災状況調査等を実施。

○ヘリコプターによる被害状況調査

- ・防災ヘリ（おりづる号） 山口県を調査 7/2
- ・防災ヘリ（はるかぜ号） 福岡県、熊本県を調査 7/3

(5) 災害対策用機械等の出動（のべ23台・日、日最大11台7/1）

- ・散水車（給水装置付）1台（中国）を山口県美弥市に派遣。（7/1～現在）
- ・排水ポンプ車7台（四国）を愛媛県松山市、大須市内に派遣。（7/1～7/2）
- ・排水ポンプ車2台（九州）を熊本県益城町内に派遣。（7/4～7/5）
- ・照明車3台（中国・四国）を愛媛県松山市、山口県下関市内に派遣。（7/1～7/2）

6 気象庁の対応

○JETT（気象庁防災対応支援チーム）※TEC-FORCEの内数（7/6 7:00時点）

6/29：12名（岐阜県庁2、島根県庁2、浜田市3、江津市3、香川県庁2）を派遣

6/30：37名（富山県庁2、石川県庁2、岐阜県庁2、和歌山県庁1、鳥取県庁2、島根県庁2、愛媛県庁2、山口県庁6、福岡県庁2、佐賀県庁2、長崎県庁2、熊本県庁2、大分県庁4、宮崎県庁4、鹿児島県庁2）を派遣

7/1：23名（岐阜県庁1、広島県庁2、坂町1、愛媛県庁2、山口県庁3、福岡県庁2、佐賀県庁2、長崎県庁2、熊本県庁2、大分県庁2、宮崎県庁2、鹿児島県庁2）を派遣

7/2：1名（岐阜県庁1）を派遣

7/3：14名（美祢市2、福岡県庁2、佐賀県庁2、熊本県庁2、由布市2、宮崎県庁2、鹿児島県庁2）を派遣

7/4：13名（山口県庁3、由布市2、高千穂町2、五ヶ瀬町2、椎葉村2、鹿児島県庁2）を派遣

7/5：5名（山口県庁3、由布市2）を派遣

7/6：2名（由布市2）を派遣

○気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒を呼びかけている。

○気象庁本庁では、6/29に報道機関に対し気象解説を実施。また、6/30には水管理・国土保全局と合同で報道機関に対し解説を実施。

○各地の気象台は、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣やホットライン、地方整備局等との合同での大雨に関する記者会見等により警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を行っている。

7 国土技術政策総合研究所・（国研）土木研究所の対応

○熊本県上益城郡山都町内の国道 445 号金内橋落橋現場調査に、熊本県の要請（九州地方整備局経由）を受け、道路構造物の専門職員を派遣（7/6：国総研 1 名、土研 3 名）

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林 代 表：03-5253-8111 内線35-822 直 通：03-5253-8461
